

(別紙4(2))

事業所名 こがグループホーム 野伏間作成日: 平成 30 年 4 月 2 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容もホームの報告や質問に対する答弁が中心になっているので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように、議題や内容を検討し、参加委員が参加したくなるような魅力ある運営推進会議を目指していく。	複数の民生委員や、地域で活動している有識者、知見者等に参加を要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの発展だけでなく、地域貢献に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と、新人職員の介護技術の差があるため、内部での勉強会、外部研修を受講する事で、職員の介護知識や技術の向上に取組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	習熟度に合わせて職員を外部研修に派遣し、知識、技術の向上と意識の高揚を図り、職員が意欲的に働く職場を目指していく。	12ヶ月
3	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者2名で、利用者18名を安全に避難場所に誘導する訓練を繰り返し行い、夜勤者が非常時に慌てる事無く避難誘導出来るよう取り組んでいく。	各ユニットで夜勤者が中心になって避難訓練が出来るように取組み、タイムを計り、5分以内に利用者9名を避難場所に誘導出来るように、何度も訓練を実施して行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。